

愛媛県の川に生活する魚たち ～その現状と保全

日時

令和7年

12月2日(火)

19:00～20:30

会場

愛媛大学 松山市文京町3番
E.U. Regional Commons
(ひめテラス) 1階

対象

自然に関心がある方30人

参加費:300円、高校生以下200円

山の奥深くから平野部を経て河口まで、愛媛県を流れる河川とその周辺水域には、およそ210種類の魚が暮らしています。一生を真水の中で過ごすもの、川と海を行き来するもの、川へよく入ってくる海の魚。陸水を彩る本県在来の魚たちは現在、私たち人間の生活の影響を受け、少なくとも四分の一ほどの種類は様々な理由で絶滅あるいはそれに近づきつつあります。彼らはそれぞれどのような理由で減少に至っているのか、その現状を見ていくとともに、種の特性に応じた保全の在り方について考えてみたいと思います。

【カジカ】



【お申し込み】 お名前、住所(市町まで)を
下記e-mailアドレスにお知らせください。

■NPO法人森からつづく道

e-mail: info@morimichi.org

※当日参加OKですが、準備の都合上、事前申込にご協力ください。
※個人情報は適正に管理し、当事業関係の連絡にのみ使用します。



Web申込



【ヤリタナゴ】

◆話題提供 清水 孝昭 さん

愛媛県水産研究センター室長

1966年生まれ 理学博士

環境省「絶滅のおそれのある野生動植物種の選定・評価検討会 汽水・淡水魚類分科会検討委員」、環境省「希少野生動植物種保存推進員」、愛媛県「野生動植物保護推進員」、松山市「松山市希少動植物保護対策専門委員」などを務める。

日本魚類学会、日本生態学会、日本生物地理学会、他に所属。

書籍「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—4 汽水・淡水魚類(環境省編)」、「日本の希少な水生生物に関するデータブック(水産庁編)」、「愛媛県レッドデータブック2014 愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物(愛媛県貴重野生動植物検討委員会編)」、「希少淡水魚の現在と未来—積極的保全のシナリオ—(片野 修・森 誠一監修・編、信山社)」など、共著多数。

【スナヤツメ】



【ヒナイドジョウ】

